

補助第230号線(大泉町)道路整備に係る意見交換会の概要

1. 目的
補助第230号線について、より快適で安全な道路整備を進めるため
2. 内容
道路の整備形態(交差点、自転車通行区分、緑化等)について、地域の意見や要望に配慮した整備計画を策定

3. 取り組み状況

①大泉町一丁目町会地区

	開催日	会場	参加役員数	内容
第1回	平成28年3月5日	八坂神社内集会所	約30名	道路計画
第2回	平成28年6月4日	八坂神社内集会所	約30名	車道・歩道の幅員構成

②大泉町二丁目町会地区

	開催日	会場	参加役員数	内容
第1回	平成28年2月7日	北大泉地区区民館	約20名	道路計画
第2回	平成28年5月8日	北大泉地区区民館	約10名	車道・歩道の幅員構成
第3回	平成28年7月3日	北大泉地区区民館	約15名	交差点、区道接道部

③大泉町三丁目町会地区

	開催日	会場	参加役員数	内容
第1回	平成28年2月6日	大泉会館	約10名	道路計画
第2回	平成28年5月7日	大泉会館	約15名	車道・歩道の幅員構成
第3回	平成28年7月2日	大泉会館	約10名	交差点、区道接道部

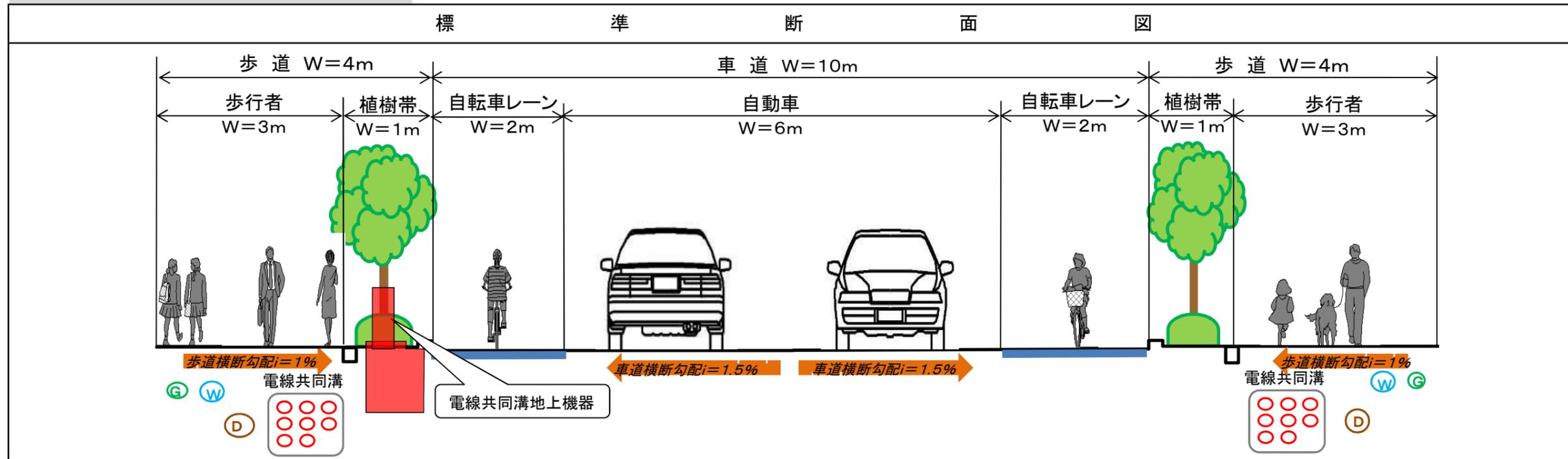
④橋戸町会地区

	開催日	会場	参加役員数	内容
第1回	平成28年5月11日	橋戸小学校	約30名	道路計画
第2回	平成28年7月14日	橋戸小学校	約15名	車道・歩道の幅員構成

4. 今後の予定

本年10月までを目途に、植栽樹種、道路照明、安全施設等について意見交換を重ね、年内には最終とりまとめを行っていく。

補助230号線歩道構成の考え方



① 歩道の形式

- 【基準】** ・セミフラット形式
 ・歩道面を車道より高く、かつ縁石天端高さより低くする構造
- 【特徴】** 従来の形式(マウントアップ形式)に比べ、歩車道境界段差が小さくなるため、平坦性が確保され歩行性が向上

[マウントアップ形式]

[セミフラット形式]

歩道 車道

歩道 車道



② 歩道の勾配

- 【基準】** ・道路の勾配は、車椅子等の安全な通行を考慮して設定
 ・横断勾配(道路の横断方向)は1%
 ・縦断勾配(道路の延長方向)は、5%以下(地形状況等やむを得ない場合8%以下)
 ※車道…横断勾配:1.5%以上2%以下、縦断勾配:5~11%(設計速度に応じて相違)

[横断勾配]

[縦断勾配]



参考



③ 歩道の幅員

- 【基準】** ・高齢者、障害者等誰もが自由に移動できる空間を確保
 ・有効幅員は2m(車椅子のすれ違いに必要な幅員)以上
 ・自転車歩行者道として整備する場合は、有効幅員3m以上
 ※有効幅員…歩行者等が実質通行可能な幅員(植樹帯等を除いた通行可能な幅員)
- 【計画】** ・自転車走行空間を車道に設定し「歩道」として整備
 ・有効幅員は3m(植栽の樹種により若干変動の可能性あり)



④ 植樹帯の幅員

- 【基準】** ・植樹帯形式(带状の低木植栽と高木、中木との組合せ)で整備
 ・歩道有効幅員を2m以上確保
 ・植樹帯形式が困難な場合、植樹ます(高木、中木)を整備
- 【計画】** ・植樹帯を基本とし、交差点付近等幅員確保が困難な区間は植樹ます等を検討



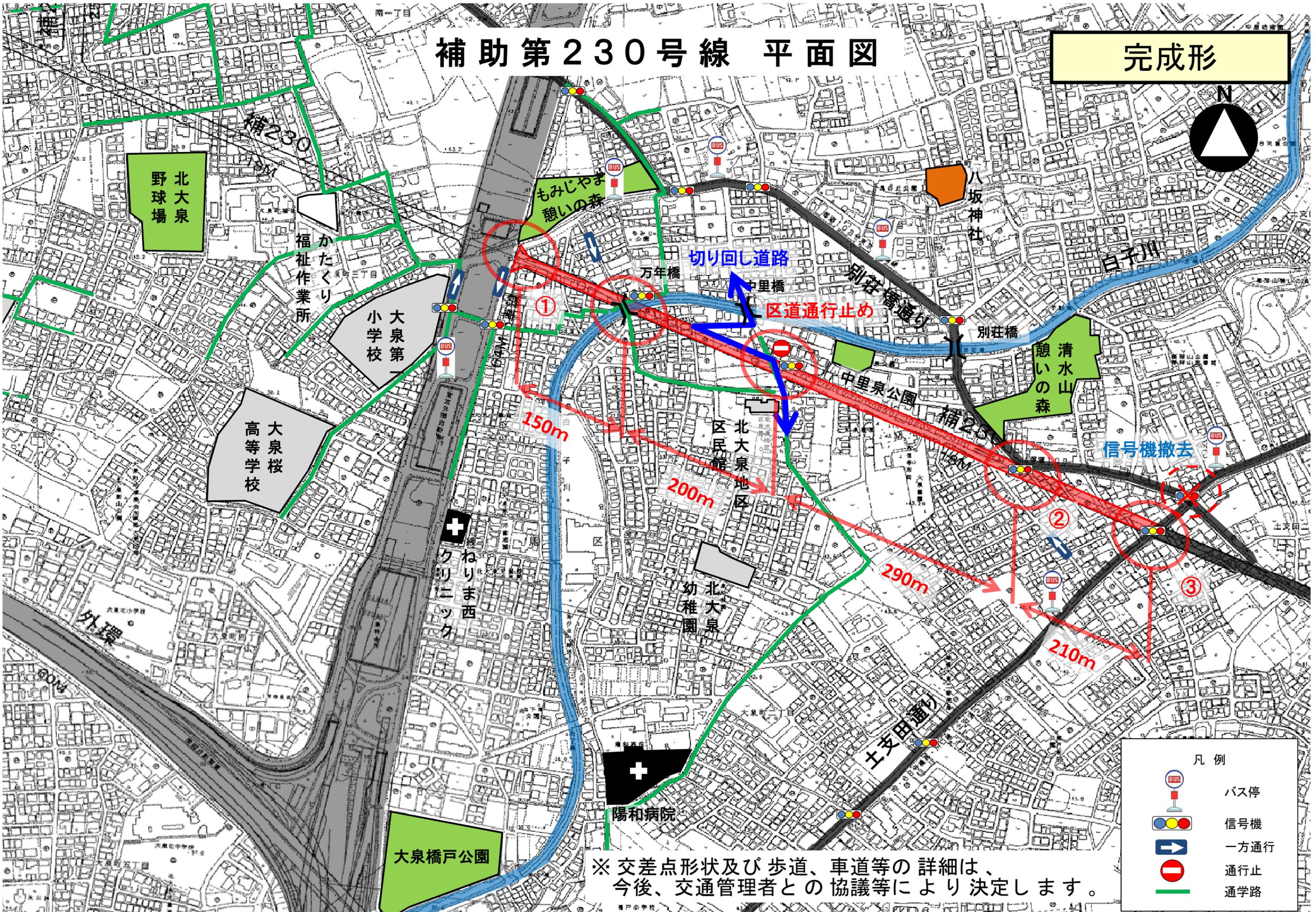
⑤ 自転車の通行区分

- 【基準】** 別添資料参照
- 【計画】** ・歩行者の安全向上を図るため、歩行者と自転車を物理的に分離
 ・自転車道は沿道利用に支障が生じるため、自転車レーンを採用



補助第230号線 平面図

完成形



野北大泉
球場

福祉作業所
かたくり

大泉第一
小学校

大泉桜
高等学校

ねりま西
クリニック

大泉橋戸公園

もみじやま
憩いの森

切り直し道路

区道通行止め

150m

200m

290m

210m

北大泉地区
区民館

北大泉
幼稚園

陽和病院

土文田通り

別荘橋通り

別荘橋

清水山
憩いの森

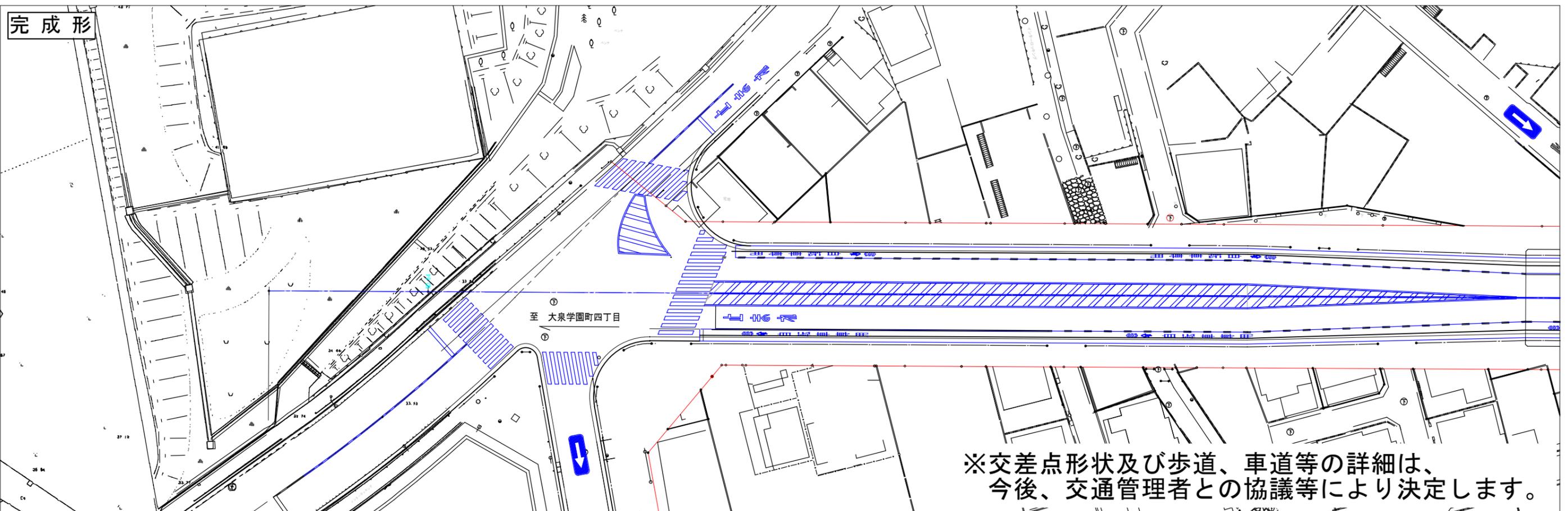
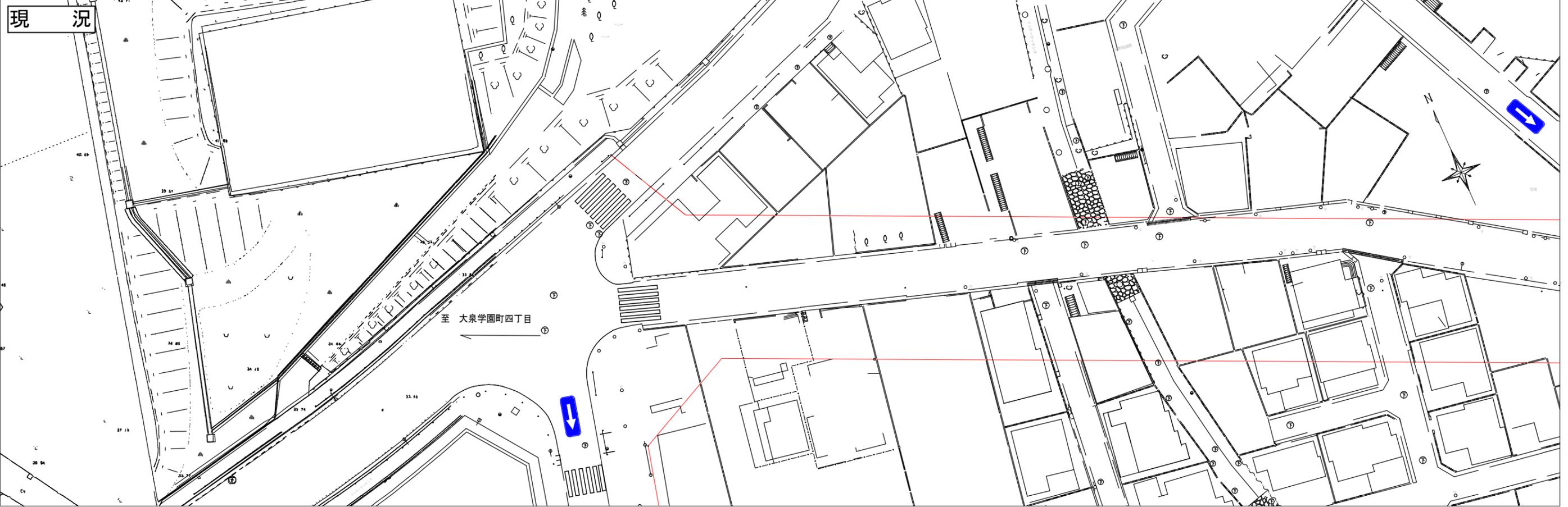
信号機撤去

凡例

	バス停
	信号機
	一方通行
	通行止
	通学路

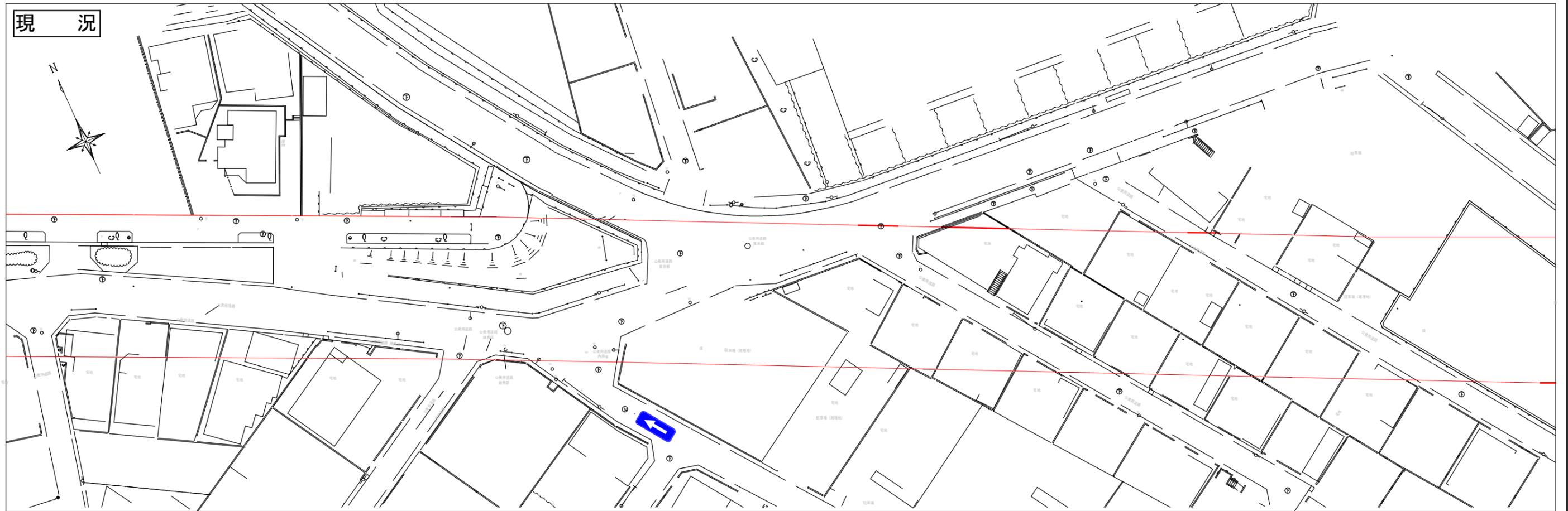
※ 交差点形状及び歩道、車道等の詳細は、今後、交通管理者との協議等により決定します。

①外環交差部

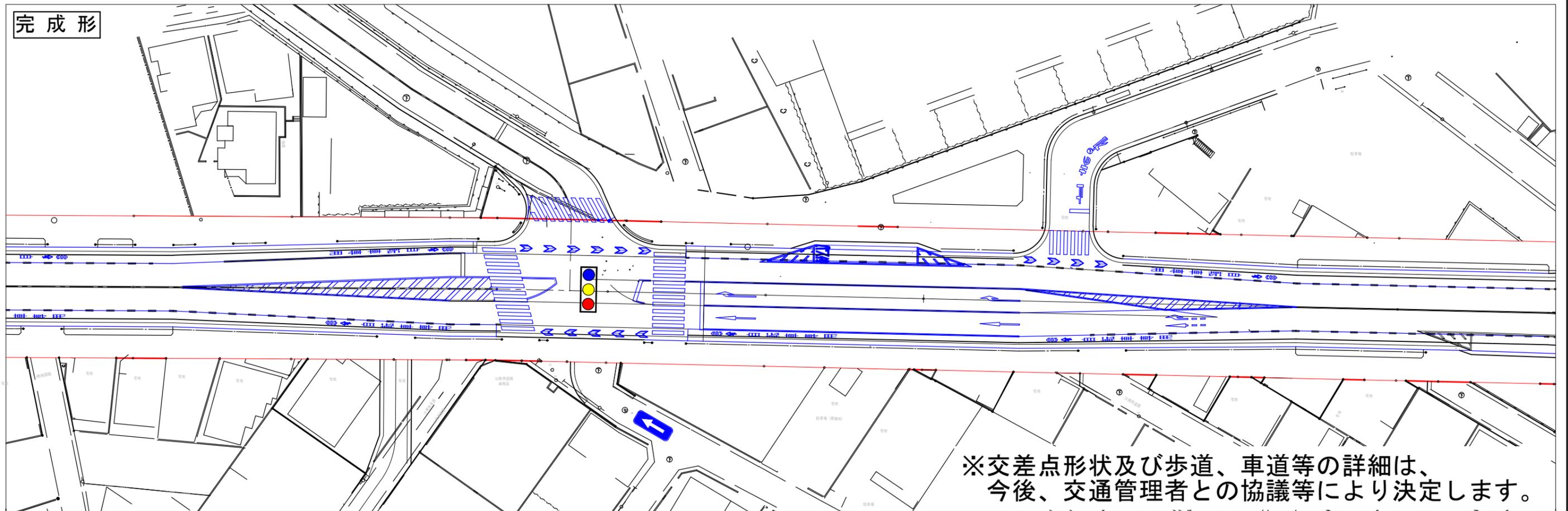


②別荘橋通交差部

現 況



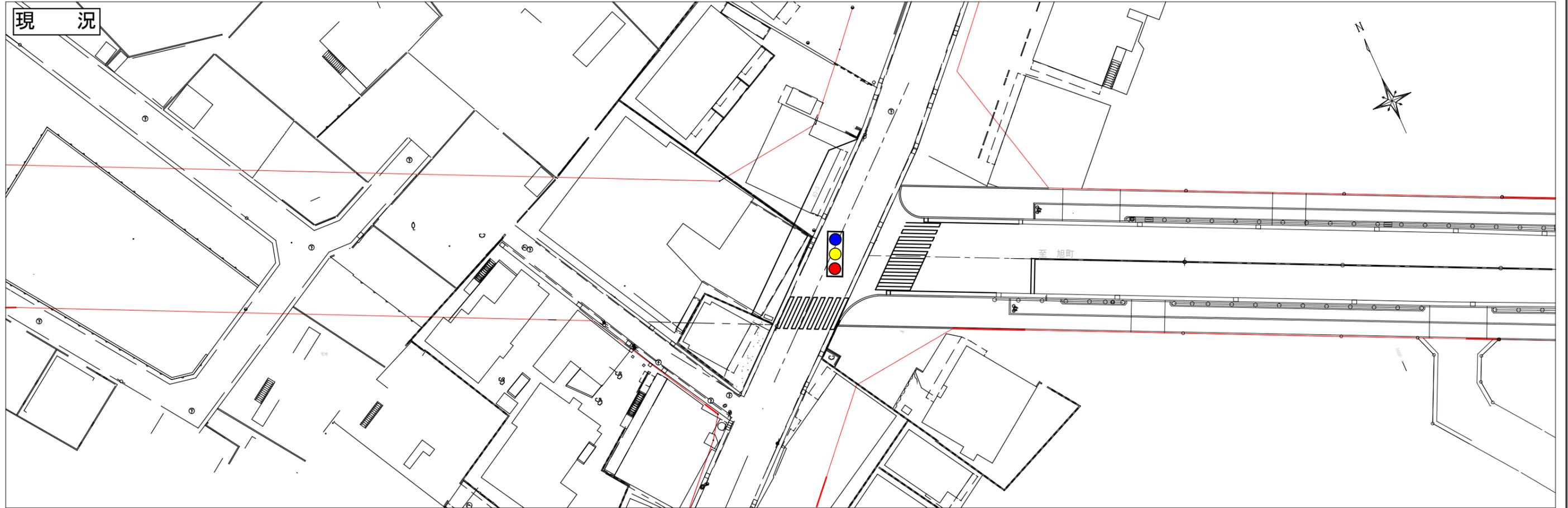
完 成 形



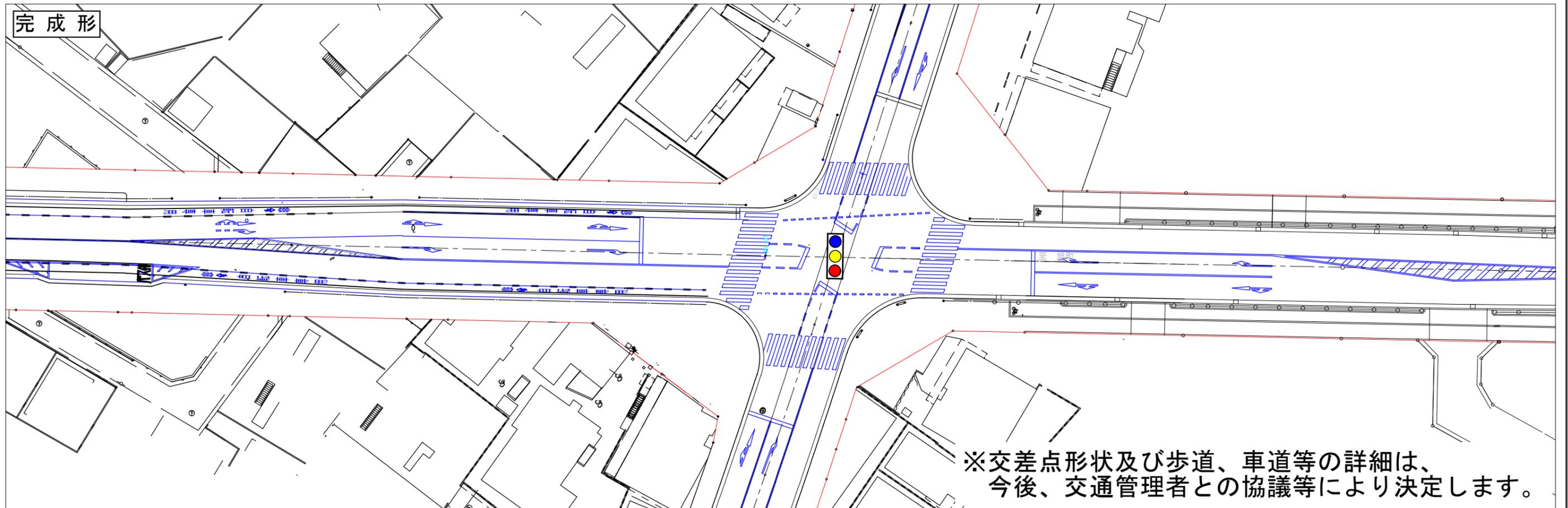
※交差点形状及び歩道、車道等の詳細は、
今後、交通管理者との協議等により決定します。

③土支田通交差部

現 況



完 成 形



※交差点形状及び歩道、車道等の詳細は、
今後、交通管理者との協議等により決定します。